

令和6年9月4日

報道機関 各位

台風10号 九州本土に上陸、献血の中止が相次ぐ
いのちを繋ぐため、皆さまの協力が必要です！

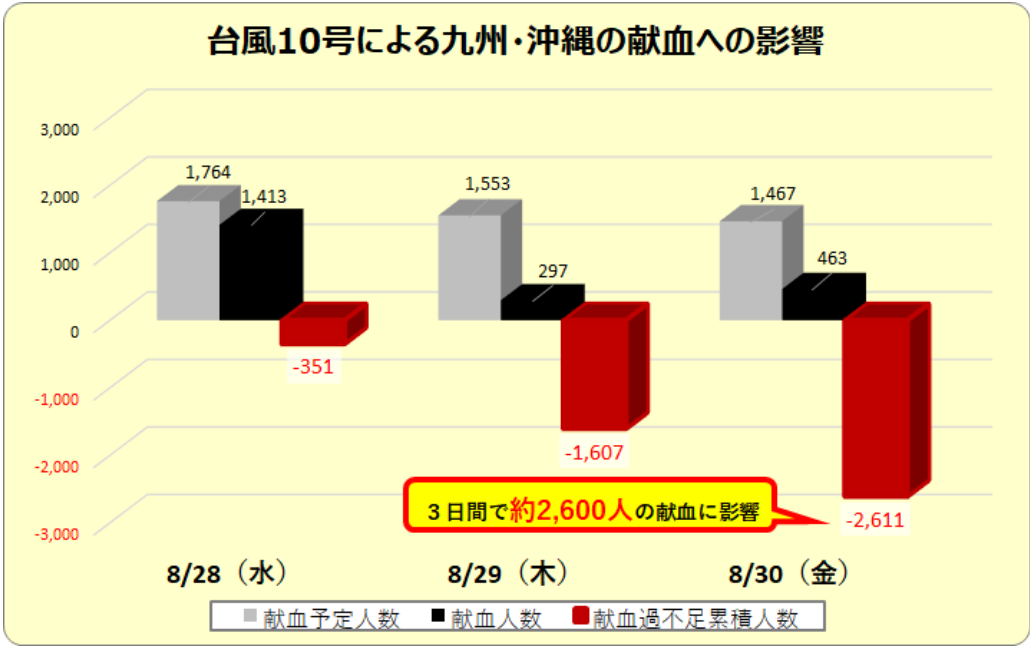
先般、台風10号が九州本土に接近・上陸し、8月28日から30日にかけて九州・沖縄で予定していた献血会場のうち、**40か所の受入を中止、20か所の受付時間を短縮し、約2,600人**の方の献血受入に影響が出ました。
※宮崎県では、8月28日から8月30日にかけて、**献血バス4か所で中止、1か所で受付時間の短縮。献血ルーム「カーリー」が29日1日閉所**となり、その結果、**約180人**の献血受入に影響が出ております。

九州各県の赤十字血液センターでは、日本赤十字社九州ブロック血液センター（福岡県久留米市）を中心に、台風の接近に伴い、連日災害時需給対策会議を行い、本州から輸血用血液製剤を支援していただくなどの対策を講じ、医療機関に供給することができました。しかしながら、台風通過後、引き続き医療機関に安定して輸血用血液製剤をお届けするためには、九州・沖縄で予定していた**約2,600人分**の献血血液を早期に確保する必要があります。

8月31日からは、宮崎県においても、献血ルームと献血バスを通常どおり稼働させており、各会場において、おひとりでも多くの方の献血へのご協力を必要としております。

つきましては、報道機関の皆さまには、献血会場等への取材方、報道を通じて、県民の皆さまへ広く献血への呼びかけをお願いいたします。

※参考※台風10号による九州・沖縄の献血への影響



【問い合わせ先】 宮崎県赤十字血液センター 献血推進課
TEL：0985-50-1800 [平日 9:00～17:00] 本件担当：大草・富永